

昆虫

レッドデータブック大分2022に選定されている238種のうち、98種もの池、海岸の一部には開発や汚染(おせん)を免(まぬが)れた優れた自然

昆虫が大分市で確認されています。高い山はありませんが、今なお残る里山の田園景観、川や池があり、多様性豊かな昆虫相を示しています。ここでは身近に観察できる昆虫たちを紹介します。

絶滅 EX

野生絶滅 EW

絶滅危惧ⅠA類 CR

絶滅危惧ⅠB類 EN

絶滅危惧Ⅱ類 VU

準絶滅危惧 NT

情報不足 DD

絶滅のおそれのある地域個体群 LP

1 ベニイトトンボ [生息場所] 池・里
よくみられる時期:夏~秋
体長:40mm



水生植物が豊富な池で見られます。オスは鮮(あざ)やかな赤い色が目立ちますが、メスは薄紅(うすべに)色。池のまわりをゆっくりと飛びます。

2 アオハダトンボ [生息場所] 川・里
よくみられる時期:春~夏
体長:60mm



平地から山ぞいの、流れのゆるやかな里山の川で見られます。オスはハグロトンボによく似ていますが、発生時期が早く、真夏にはすがたを消します。

3 ギンヤンマ [生息場所] 池・里
よくみられる時期:初夏~秋
体長:80mm



平地から丘の、広い池などで見られ、池のまわりを飛びまわります。小さな池で春先から見られるのはクロスギンヤンマで、よく似ています。

4 タベサナエ [生息場所] 池・里
よくみられる時期:春~初夏
体長:45mm



里山の田んぼで明るい池や湿地(しっち)などで発生します。よく似たフタスジサナエとともに春先から見られ、飛んではすぐに止まります。

5 ヨツボシトンボ [生息場所] 池・里
よくみられる時期:春~夏
体長:45mm



平地~山地のヨシやガマなどの植物がしげる深さのある池で見られ、平地のベッコウトンボがいる池では見まちがえることがあります。

6 ハラビロトンボ [生息場所] 池・里
よくみられる時期:春~夏
体長:40mm



平地の植物が多い池や湿地で、早春から夏までよく見られます。写真はメスで、オスは黒っぽい色をしていて別の種のように見えます。

7 ヒナカマキリ [生息場所] 山・里
よくみられる時期:秋~冬
体長:15mm



ハネが短い茶色の小さなカマキリ。低山地の林で、落ち葉や枯れ木の上を歩き、近づくと飛びはねるすがたがかわいいです。

8 ハラビロカマキリ [生息場所] 公園 里
よくみられる時期:秋~初冬
体長:65mm



里山や平地の公園や明るい林で見つかります。木の枝に止まっていることも多いです。ごく最近、よく似た大型の外來種、ムネアカハラビロカマキリが市内に侵入(しんにゅう)しました。

9 クビキリギス [生息場所] 田んぼ 里
よくみられる時期:早春、秋
体長:30mm



顔の先がとがったキリギリスの仲間。水田の土手や草むらで、春一番の風が吹(ふ)くころに冬眠(とうみん)から覚めて、ジーツと鳴き始めます。

10 ニホントビナナフシ [生息場所] 山・里
よくみられる時期:夏~秋
体長:50mm



平地~山地の林で枝先などに止まって、よく気をつけないと見つかりません。動きはのろいが飛ぶことができます。

11 ハルゼミ [生息場所] 山
よくみられる時期:春~初夏
体長:35mm



マツ林にしかないセミ。春のひざしを浴びて、いっせいに鳴き始めます。最近(さいご)はマツ林が少なくなり、鳴き声を聞くことも少なくなりました。

12 エサキモンキツノカメムシ [生息場所] 山・里
よくみられる時期:春~晩秋
体長:12mm



低山地~山地の森でミズキなどの木の枝先に止まり、せなかのハートもようがよく目立ちます。むねの両端(りょうたん)がとがっているのはツノカメムシ科の持ちようです。

13 オオアメンボ [生息場所] 川・池
よくみられる時期:通年
体長:25mm



広い池や川の岸辺で水面を泳ぐ日本最大のアメンボ。水面に落ちた小さな虫などを食べます。飛ぶ力が強く、川から池へと移動できます。

14 コオイムシ [生息場所] 田んぼ 池
よくみられる時期:通年
体長:20mm



里山の田んぼや池によく見られる種でしたが、最近(さいご)は少なくなりました。オスのせなかにうみ付けられた卵(たまご)を春先から見かけます。

15 ヒメミズカマキリ [生息場所] 池・里
よくみられる時期:ほぼ一年中
体長:30mm



里山や平地の水生植物の多い池や水路で見つかります。一生を水中で過ごします。ミズカマキリより個体数は少なく、分布も限られます。

16 ナミハンミョウ [生息場所] 里・山
よくみられる時期:春~秋
体長:20mm



林の明るい小道や河原の砂地(すなじ)などを活発に歩き、よく飛び、美しいようが目立ちます。小さな昆虫などをそおう肉食昆虫です。石の下などで成虫は冬を過ごします。

17 コガタノゲンゴロウ [生息場所] 池・川
よくみられる時期:一年中
体長:26mm



河川の水ぎわや里山の池などの湿地にみられ、一年中活動している大型のゲンゴロウです。最近、個体数が増えているといわれます。

18 センチコガネ [生息場所] 山・里
よくみられる時期:早春~初冬
体長:15mm



森の昆虫で、動物の糞(ふん)やくさった植物に集まります。森の中を低くゆうように飛び、せなかにはよく輝(かがや)きます。その色は所によって赤や青色に変化することがあります。

19 スジクワガタ [生息場所] 山・里
よくみられる時期:春~秋
体長:35mm



平地~山地の広葉樹(こうようじゅ)の森にすみ、たおれた朽(く)ち木で幼虫が育ちます。同じような場所にいるコクワガタに似ていますが、個体数は少ないです。

20 カナブン [生息場所] 山・里
よくみられる時期:夏
体長:30mm



夏、森の中や公園の林を歩くと、甘いおりがします。近づくと、木のみきから樹液(じゅえき)がじゅじゅとにじみ、銅色(どうしき)に輝(かがや)くカナブンが集まっています。アオカナブンのような緑色の個体も見つかります。

21 キンイロジョウカイ [生息場所] 山・里
よくみられる時期:初夏~夏
体長:22mm



カミキリムシに似た形のジョウカイボンのなかでは最大級の美しい種。山にクリの花が咲(さ)き始めると集まることができます。

22 ゲンジボタル [生息場所] 川・里
よくみられる時期:初夏
体長:16mm



平地~低山地の川ぞいで夜、光りながら飛ぶすがたは初夏の日本の風物詩(ふうぶつし)。田んぼのまわりを少しおそい時期に飛ぶヘイケボタルはむねの黒いスジもようが太いです。

23 ハラグロオオテントウ [生息場所] 川・里
よくみられる時期:春~秋
体長:12mm



大型のテントウムシ。どこにでもいる虫ではありませんが、河原や山ぞいの道を歩いてクワの木を見つけたら、葉に止まっています。クワキジラミという小さな昆虫を食べます。

24 下:ナミテントウ(上:ツマジロカメムシ) [生息場所] 林・草原 山
よくみられる時期:春~秋
体長:7mm



川や草原、山の明るい自然では、どこでも見つかりますが、いろんなようがある別の種かと思ってしまう。写真のように、冬はほかの昆虫といっしょに集団で冬ごします。

昆虫

レッドデータブック大分2022に選定されている238種のうち、98種もの池、海岸の一部には開発や汚染(おせん)を免(まぬが)れた優れた自然

昆虫が大分市で確認されています。高い山はありませんが、今なお残る里山の田園景観、川や池、海岸の一部には開発や汚染(おせん)を免(まぬが)れた優れた自然があり、多様性豊かな昆虫相を示しています。ここでは身近に観察できる昆虫たちを紹介します。

絶滅 EX

野生絶滅 EW

絶滅危惧ⅠA類 CR

絶滅危惧ⅠB類 EN

絶滅危惧Ⅱ類 VU

準絶滅危惧 NT

情報不足 DD

絶滅のおそれのある地域個体群 LP

25 ニホンキマワリ 【生息場所】公園山
よくみられる時期:春~秋
体長:22mm



森の中で木のみきや枝の上をはいまわる黒いつやのある甲虫(こうちゅう)。コケや朽(く)ち木を食べています。

26 シラケトラカミキリ 【生息場所】林・草原里
よくみられる時期:春~夏
体長:10mm



春先からあらわれ、いろんな花やたおれた木のえだ先をせわしく歩きまわります。近づくと飛んでにげますが、すぐにまた集まります。

27 ルリボシカミキリ 【生息場所】山・里
よくみられる時期:夏~秋
体長:25mm



ルリ色に黒いもようがあり、見つけるとハツとする美しいカミキリムシ。森のはずれに切りたおされた木があれば、見つかるかもしれません。

28 アオスジカミキリ 【生息場所】里・沢
よくみられる時期:夏
体長:25mm



緑色のスジもようがあるカッコいいカミキリムシ。川ぞいや森のはずれなど明るい場所のネムノキに夜集まっています。夜、光にも集まります。

29 タケトゲハムシ 【生息場所】里・山
よくみられる時期:春~秋
体長:4mm



森の道ぞいのササやメダケなどの葉をよく見ると、スジのような食べあとがあり、体中がトゲトゲのタケトゲハムシが見つかります。人に害はありません。

30 ヤナギハムシ 【生息場所】川・里
よくみられる時期:春~夏
体長:7mm



春、川ぞいのヤナギに新しい葉がでてくると、若葉に止まっています。5月の終わりには、このハムシのサナギが葉のうらに並んでいるのが見つかります。

31 トゲアリ 【生息場所】山・里
よくみられる時期:春~秋
体長:8mm



古い木が残る森のクヌギ林などで活動する働きアリが見つかりますが、分布は限られます。木のほらに巣をつくります。せなかには大きなトゲがあります。

32 オオモンクロモバチ 【生息場所】公園林・草原
よくみられる時期:夏~秋
体長:22mm



公園や林を低く飛び、大型のクモをくわえて地面の穴に引きずり込みます。穴の中は巣になっていて、毒バリで動けなくなったクモは幼虫のエサになります。

33 トラムルハナバチ本土亜種 【生息場所】里林・草原
よくみられる時期:春~秋
体長:18mm



働きバチはいろいろな花のみつを長い口吻(こうぶん)をのぼしてすいます。ミツバチよりもズングリとして大きく、花から花へと飛びまわります。

34 ダイショウセセリ 【生息場所】里林・草原
よくみられる時期:春~夏
体長:開帳20mm



林のはずれや里山の道ぞいをすばしっこく飛び、ハネを開いて止まります。ヤマイモのツルをさがして、丸めた葉の中の幼虫を見つけてみましょう。

35 ギンイチモンジセセリ 【生息場所】里林・草原
よくみられる時期:春~夏
体長:開帳18mm



火山草原や河川堤防(ていぼう)などのイネ科植物を食草とします。春と夏、年に2回発生して、雑草の中をぬように飛び、目立ちません。

36 ヤクシマルリジミ 【生息場所】川林・草原
よくみられる時期:春~秋
体長:開帳16mm



家の近くのバラや川原のノイバラ、海岸の森のウバメガシやイソノキなど、多くの植物のやわらかい葉を食べて成長します。飛びスピードがルリジミより速いです。

37 ムラサキツバメ 【生息場所】山公園
よくみられる時期:早春~晩秋
体長:開帳24mm



シリブカガシのある山にすみ、公園のマテバシイでも育ちます。成虫で冬こしするため、ときどき家の庭の木のうらで集まって見つかることもあります。ムラサキジミに似ています。

38 ツバメシジミ 【生息場所】川公園
よくみられる時期:春~秋
体長:開帳13mm



平地~山地の道ぞいの草むらで、マメ科植物を食べて成虫になります。明るい草地があれば町の中でも見られます。オレンジの紋(もん)でヤマトシジミと区別できます。

39 ミドリヒョウモン 【生息場所】山・里
よくみられる時期:夏~秋
体長:開帳40mm



森にすみヒョウモンチョウ。幼虫のエサはスミシ類。森の中の明るい道ぞいや草地の花に集まりますが、飛び方はすばやいです。オスもメスもハネのうらが緑色をしています。

40 ウラギンヒョウモン 【生息場所】林・草原里
よくみられる時期:夏~秋
体長:開帳36mm



山のすそ野の明るい草原を飛びまわり、いろいろな花に集まりますが、最近は少なくなりました。明るい場所のスミシ類が幼虫のエサ。ハネのうらの銀色紋が美しいです。

41 ヒカゲチョウ 【生息場所】山
よくみられる時期:夏~秋
体長:開帳34mm



山地のササやタケが多いところで発生しますが、分布はとて限られ、少ないです。同じようなところにいる、よく似たクロヒカゲはとも多いですが、そのわけは分かっています。

42 コジャノメ 【生息場所】里・山
よくみられる時期:春~秋
体長:28mm



林の道ぞいを低く飛びますが、ヒメジャノメよりも少なく、見つかる場所も少ないです。うす暗いところで、よう虫はイネ科植物を食べて成虫になります。

43 サトキマダラヒカゲ 【生息場所】林・草原里
よくみられる時期:初夏~夏~秋
体長:34mm



平地~山地のササやタケ類があるところでは多いです。木かげに止まっていて、人が歩くとすばやく飛んで、すぐにとまります。よく似たヤマキマダラヒカゲとは区別がむずかしいです。

44 アサギマダラ 【生息場所】山・沢
よくみられる時期:初夏~秋
体長:開帳60mm



春と秋に旅をする美しいチョウとして有名です。春は佐賀関(さかのせき)半島でも南からわたってきたすがたが見られます。夏は山の谷すじの白い花にふわふわと飛べます。

45 ミカドアゲハ 【生息場所】山公園
よくみられる時期:初夏~秋
体長:開帳45mm



南方系の種で、佐賀関半島から南の海岸の自然林では、オガタマノキを食草として発生します。5月には林縁(りんえん)の白い花を次々に飛び交います。

46 ミヤマカラスアゲハ 【生息場所】山・沢
よくみられる時期:春~夏
体長:開帳70mm



山の荒地や道沿いのカラスザンショウなどで成虫が育ちます。春にあらわれる個体が、こがね色のオビもよごとくに美しいです。オスはしめったところによく集まります。

47 ツマグロキチョウ 【生息場所】里林・草原
よくみられる時期:春~秋
体長:開帳20mm



河川敷(じき)や里山の荒地(あれち)のカワラケツメイというマメ科植物を食草とします。手入れが行き届く場所にはいません。全国で個体数が減少しています。

48 セスジズメ 【生息場所】里田んぼ
よくみられる時期:初夏~秋
体長:開帳30mm



成虫はジェット機のようなすがたのスズメガの仲間。目玉もよすがが目立つ幼虫は、ヤブカラシなどの雑草やサトイモの害虫でもあります。人里によくあらわれます。

昆虫